

和解条件で誠意示せ

— 会社・和解交渉を応諾 —

**三池大災害
22周年抗議集会**
提訴12周年

映画「三池のたたかい」上映

「生命を守る」たたかいの発展と
裁判闘争の勝利のために

11月9日(土) 大牟田市民会館
PM1時30分開会
三池労組・三池主婦会 総評・炭労

**三池大災害二十二周年
抗議集会のお知らせ**

とき 十一月九日(土)
午後一時開場、一時三十分開会
ところ 大牟田市民会館ホール

行事 第一部 映画「三池のたたかい」
第二部 抗議集会

※ 当日三池労組は二十四時開会ストライキに突入します。
※ 抗議集会終了後、三池鉱業所へデモ行進をおこないます。

執行部が入坑点検

十一月九日三池大災害二十二周年を前にして、三池労組では執行部の入坑点検を実施します。それぞれの現場でも一斉に不安要素の

点検活動をすすめて下さい。
11月1日(金) 四山鉱
2日(土) 三川鉱
4日(月) 有明鉱

うーき

10月11日	中央生産会議
12日	第三回委員会
14日	有明鉱衛生委員会
15日	本所生産会議
17日	三川鉱生産会議
18日	会社、財務対策提案
20日	熊本参院補選投票日
21日	反戦デー、平和音楽祭
22日	炭労中央委員会
25日	鉦門ヒラ配布(秋闘)
25日	四山鉱生産会議
26日	保安委員会
26日	大地評定期大会
27日	反核平和集会
28日	秋闘妥結
29日	大牟田市民総決起集会
31日	会社、裁判所へ回答
11月1日	入坑点検(四山鉱)
2日	入坑点検(三川鉱)
4日	入坑点検(有明鉱)
4日	第四回委員会
5日	地域分会長会議

三川鉱大災害のCO訴訟をめぐって、すでに原告は和解のテーブルについて、裁判所は訴から十二年、遺族やCO患者とその家族の苦痛はいまなお続いています。災害の責任を追究し、完全治療、完全補償、労災法の抜本改正、労働災害の撲滅をめざしたたたかいは苦難の連続でしたが、六十回におよぶ公判が、ようやく結審という段階で裁判所から和解意思の有無が問われ、原告と三池労組は苦闘の闘争を経てこれに応じることを回答したのは今年の六月六日でした。

これに対し、被告である会社側は、社内の意見がまとまらないと

三川鉱大災害のCO訴訟をめぐって、すでに原告は和解のテーブルについて、裁判所は訴から十二年、遺族やCO患者とその家族の苦痛はいまなお続いています。災害の責任を追究し、完全治療、完全補償、労災法の抜本改正、労働災害の撲滅をめざしたたたかいは苦難の連続でしたが、六十回におよぶ公判が、ようやく結審という段階で裁判所から和解意思の有無が問われ、原告と三池労組は苦闘の闘争を経てこれに応じることを回答したのは今年の六月六日でした。

これに対し、被告である会社側は、社内の意見がまとまらないと

見解を発表

被告三井鉱山がCO訴訟をめぐって、和解のテーブルについての態度を表明したことに、十月三十一日午後四時から記者会見をおこなう。原告団、三池労組、弁護団の統一見解を発表しました。

一、三井三池三川鉦の炭じん爆発による災害は、日本労働運動史上かつてない大災害です。本年はじめ、裁判所から和解意思の有無について、原告、被告双方に打診があり、原告の多くが和

不満いっぱい、秋闘妥結

炭労側は、一〇八回定期大会で決めた秋闘方針にもとづいて、退職手当、じん肺・せき損、職業病補償、定年延長などの諸要求獲得をめざして十月二十二日から三井、三菱、住友、太平洋の先行四社との対角交渉でたたかいます。社内の対角交渉でたたかいます。社内の対角交渉でたたかいます。

石炭産業守れ、大牟田市民総決起集会開く

十月二十九日、午後五時三十分から大牟田市民二千人を集めて大牟田市民会館で開かれました。第八次石炭政策が石炭産業を脅かす方向にあることを、中央の閣議に答申され、その行方がかわらぬと憂慮されている中で、産炭地大牟田市民が総決起集会を開きました。

大牟田の浮沈にかかわる重大な岐路に立っているとの危機感から決起集会を開くとともに、中央の閣議方面に陳情行動などをとおこすとしています。なお、この集会には三池労組から八十人が参加しました。

地底

十月下旬は急に冷え込む日があつて、早々とタツ布団などが持ち出された。十一月は霜月といわれ霜が降りるが、紅葉の季節、初冬を経てやがてくる厳冬の予防にうがい励行を。

十一月三日は「文化の日」、とはいってもこの日は明治四十五年までは天皇誕生日(天皇誕生日)、昭和二十二年までは明治節(明治天皇をたたえる日)であり、日本の文化とは直接関係のない日だった。文化も上から押しつけられるのはご免。この機会に文化とは何かを問ひ直し、手づくりの文化に親しみたいのだが、さて……

「中流意識が「成熟化」、という経済企画庁の国民生活白書が出た。豊かで平等な戦後四十年の成果だと「自画自賛」の態度であるが、この中流意識が曲物、これもやらせではないのかと疑いたくなる。生活水準が向上したり生活環境が良くなったといつても、働きバチの結果、加えて格差がわが身に及び寄る。

秋闘の結果はさんたんたるものだった。石炭産業をとりまく情勢がきびしいのは言をまたないが、政策検討中だということも労働条件が前向きならぬとは情けない。真の石炭政策確立とは労働条件、保安を含めたものはず。期末闘争が十四日中闘招集で始まるが、年間臨給制度の縮減でもあり、どう、カバ、を崩すか。

「具体的かつきめ細かな措置をした」とは、会社と和解交渉の応諾のコメント。やったやうにいつても、もともと低かったのは常識。ゆえに訴訟になった。労使交渉に力関係があるのも常識で、限界をこえ得なかつたわけだ。「原因、責任、時効で立証できた」と資本の力を誇示するが、災害を起した事実が永遠に消えぬ。

**災害の責任は免れない
今後の和解交渉が焦点に**

三川鉱大災害のCO訴訟をめぐって、すでに原告は和解のテーブルについて、裁判所は訴から十二年、遺族やCO患者とその家族の苦痛はいまなお続いています。災害の責任を追究し、完全治療、完全補償、労災法の抜本改正、労働災害の撲滅をめざしたたたかいは苦難の連続でしたが、六十回におよぶ公判が、ようやく結審という段階で裁判所から和解意思の有無が問われ、原告と三池労組は苦闘の闘争を経てこれに応じることを回答したのは今年の六月六日でした。

公判のお知らせ

9・28 坑内火災裁判公判
十一月七日午後一時から、福岡地方裁判所。(49回)

11・9 三池大災害裁判公判
十一月七日午後四時から、福岡地方裁判所。(60回)

石炭産業守れ、大牟田市民総決起集会開く



現存炭鉱の長期安定化、保安確保、石炭三法の延長、石炭予算の充実確保を求めて開かれた大牟田市民総決起集会。集会終了後繁華街へのちょうちんパレードをおこなった。演壇は奥田知事。

地底

十月下旬は急に冷え込む日があつて、早々とタツ布団などが持ち出された。十一月は霜月といわれ霜が降りるが、紅葉の季節、初冬を経てやがてくる厳冬の予防にうがい励行を。

十一月三日は「文化の日」、とはいってもこの日は明治四十五年までは天皇誕生日(天皇誕生日)、昭和二十二年までは明治節(明治天皇をたたえる日)であり、日本の文化とは直接関係のない日だった。文化も上から押しつけられるのはご免。この機会に文化とは何かを問ひ直し、手づくりの文化に親しみたいのだが、さて……

「中流意識が「成熟化」、という経済企画庁の国民生活白書が出た。豊かで平等な戦後四十年の成果だと「自画自賛」の態度であるが、この中流意識が曲物、これもやらせではないのかと疑いたくなる。生活水準が向上したり生活環境が良くなったといつても、働きバチの結果、加えて格差がわが身に及び寄る。

秋闘の結果はさんたんたるものだった。石炭産業をとりまく情勢がきびしいのは言をまたないが、政策検討中だということも労働条件が前向きならぬとは情けない。真の石炭政策確立とは労働条件、保安を含めたものはず。期末闘争が十四日中闘招集で始まるが、年間臨給制度の縮減でもあり、どう、カバ、を崩すか。

「具体的かつきめ細かな措置をした」とは、会社と和解交渉の応諾のコメント。やったやうにいつても、もともと低かったのは常識。ゆえに訴訟になった。労使交渉に力関係があるのも常識で、限界をこえ得なかつたわけだ。「原因、責任、時効で立証できた」と資本の力を誇示するが、災害を起した事実が永遠に消えぬ。



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033-4
編集兼人 杉本一男
発行 半年間 1,800円 送料共
振替口座番号
労働金庫大牟田支店
0968946-005